

別紙様式1 学校運営協議会による会議実施報告書

---

岐阜県立飛騨神岡高等学校

学校長 谷 脇 浩 彦

学校住所 岐阜県飛騨市神岡町小萱 2138-2 電話 0578-82-1147

---

- 1 会議名 岐阜県立飛騨神岡高等学校学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和3年1月20日(水)資料の発送  
令和3年2月1日(月)議事審議等回答の回収
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者
- |        |        |  |
|--------|--------|--|
| 委員長    | 川上 佳洋  | NPO 法人宇宙まるごと創生塾<br>飛騨アカデミー代表           |
| 副会長    | 植田 要助  | 神岡商工会議所専務理事                            |
|        | 田中 智枝  | 田中料理教室                                 |
|        | 井上 哲也  | 育友会会長                                  |
|        | 島田 紀子  | 前育友会会長                                 |
|        | 下田 章   | 有限会社カワデン取締役                            |
|        | 田口 由加子 | NPO 法人神岡・まちづくりネットワーク<br>レールマウンテンバイク事務局 |
|        | 山田 ゆかり | 総合型地域スポーツクラブ<br>一般財団法人 飛騨シューレ          |
| オブザーバー | 布俣 正也  | 岐阜県議会議員                                |
|        | 都竹 淳也  | 飛騨市長                                   |
| 学校側    | 谷脇 浩彦  | 校長                                     |
|        | 垣下 大吾  | 教頭                                     |
|        | 田屋 忠司  | 事務長                                    |
|        | 松本 正人  | 教務主任                                   |
|        | 有永 克己  | 生徒指導主事                                 |
|        | 楯 幸司   | 進路指導主事                                 |
|        | 中村 英樹  | 特別活動主任                                 |
|        | 一ノ瀬 伸郎 | 遠隔教育実証研究担当                             |
|        | 中村 裕征  | 教務部                                    |

5 会議の概要(協議事項)

- (1)挨拶 学校長より
- (2)報告事項
  - ①遠隔教育実証研究事業報告
    - ・実施概要(目的、題材、発表資料等)
  - ②いじめ防止対策について
    - ・本校の学校体制及び早期発見・早期対応の取組

③地域連携による活力ある学校づくり推進事業報告

- ・今年度実施した 16 事業の報告

(3) 協議事項

①マニフェストに関する自己評価について

- ・「夢をかなえる教育活動」
- ・「あきらめない、あきらめさせない」進路指導
- ・コミュニティ・スクールとして「高原郷にとってなくてはならない」魅力ある学校づくり
- ・連携型中高一貫教育事業を積極的に展開
- ・職員の働き方改革を積極的に展開

※ 全員一致で承認されました。

②各文書からの自己評価について

- ・教務部・教務部特別活動
- ・生徒指導部
- ・進路指導部
- ・連携型中高一貫教育事業
- ・その他

※ 全員一致で承認されました。

(4) 協議・意見交換

マニフェストに関する自己評価について

意見 1 3つの学校教育目標に基づいた5つの具体的重点目標は、本校の屋台骨であり、神岡地区唯一の高等学校としてかけがえのないマニフェストです。今後の継続・発展を望みます。

意見 2 コロナ禍で、授業や部活動で様々な制限があり、苦勞されたと思います。しかし、この状況だからこそICTやオンラインを積極的に活用するなどの取組ができ、それが生徒の学習達成度や資格・検定合格、就職内定100%に繋がっており、素晴らしいと思います。

意見 3 進学・就職先を拝見し、少人数学級編成や習熟度別授業等の効果が現れていると思います。また、連携型中高一貫教育事業での各中学校へのアクションは引き続きお願いいたします。

意見 4 土日も部活動等があり、教員の長時間勤務を心配していますが、ノー残業デーがあるとのことなので、しっかり休んでメリハリが出るとよいと思います。

各分掌からの自己評価について

- ・学習指導、特別活動

意見 1 本校は、地域になくてはならない学校として、小規模校ならではの利を生かし、小集団でのきめ細かな学習指導を実践・推進しています。また、その成果を客観的評価基準に照らして、個々の生徒に寄り添った真摯な指導体制を構築していると思います。

意見 2 ICT機器の導入による授業改善に向けた職員研修と授業実践は、新しい教育の先駆けである。『遠隔教育実証研究事業』においても、オンラインでの課題解決型授業を実践し、生徒がリアルタイムで自主的に学習できると体感したのは、大きな成果と考えられます。

意見 3 『総合的な探究の時間』や『産業社会と人間』については、飛騨市との連携を強化してほしいと思います。

意見4 『総合的な探究の時間』や『産業社会と人間』の授業については、学習のねらいを踏まえたうえで、抜本的な内容の精選が今後必要になると思います。

意見5 部活動加入率97%はすばらしい。特に、スキー部やロボット部の活躍はめざましい。野球部やバレー部もよく頑張っており、今後に期待しています。

・生徒指導（教育相談、保健厚生、寮務）

意見1 スマートフォンの使用に関する情報モラルの問題やいじめを含む生徒間トラブル等、学校内外での諸問題の解決には、スクールカウンセラーや弁護士等の専門家によるサポート及び保護者との共通理解の醸成が大きな鍵となると思います。

意見2 学校外においても、本校生徒は挨拶がしっかりでき、制服を着崩している生徒は見かけません。家庭でも学校でも指導が行き届いているのではないのでしょうか。そして、素直な子が多い気がします。

意見3 生徒心得については、多様性や機能性という観点で制服の見直しを熟慮・検討され、自由に選択できる部分も付加されたのがよかった。様々な調査により、生徒側の意見や要望も聞いて、改善している点がよいと思います。

・進路指導

意見1 新型コロナウイルスによる国難の年において、進学・就職共に進路状況に影響のある中でも、生徒一人一人が夢をもって進路を実現したというのは、総合学科の真骨頂ではないかと考えます。

意見2 今年度の四大進学者が、昨年度と比べて半減している。生徒自身の希望もあるとは思いますが、短大・専門学校希望者が四大に挑戦するなど、安易な入試システムに流されず、自信をもって一ランク上を目指すような指導をしてもらいたいと思います。

意見3 進学希望の学校を見学できないことは、大変気の毒に思います。受験生は様々な制限の中で本当に気苦労が多いと思いますが、精一杯頑張ってもらいたい。また、就職率の高さには驚きです。

・中高一貫教育

意見1 神岡地区の中高（小も含め）の尽力により、様々な活動が提案、実践されてきました。本事業の功績は、恐らく当地域の教育史に刻まれるものであると思います。

意見2 近年の地区内中学生総数の激減にも関わらず、本校への進学希望生徒総数が増加したことは、中高一貫教育により本校への一定の理解が深まったと評価できる。

意見3 神岡町中高一貫教育なので、神岡中・山之村中が主であることは当然ですが、近隣の北稜中学校や市内の古川中学校との連携についても、来年度に向けて積極的に取り組んでもらいたい。

・その他

意見1 本校の自校評価からも分かるように、①児童生徒の多様化、②教員の長時間勤務、③ICTやスマホ等情報化への対応の3点が今後の重要課題であると思う。本校では既に何らかの対応がされているが、今後も一層推進してもらえればと思います。

意見2 文科省が全国の高校生の7割が学んでいる普通科高校を改革し、文系理系に関係なくSDGsなどの最先端の学びに取り組む学科や地域の課題に取り組む学科などを柔軟に設置することを答申としてまとめています。これはまさに本校総合学科の教育活動そのものなので、これからも教職員には自信をもって教育活動に邁進してもらいたいと思います。

## 6 会議のまとめ

新型コロナウイルス感染防止のため書面開催とし、学校運営の基本方針に沿った教育活動及

び各分掌の自己評価については、全委員に承認していただきました。委員の皆様から頂いた貴重なご意見やご要望を真摯に受け止め、コミュニティ・スクールとして「高原郷になくてはならない」魅力ある学校づくりをさらに推進していきたいと思ひます。